

Copyright (c) 2006-2007 Brother Industries, Ltd.

QL-1050

Linux Printer Driver Manual

Mar 12, 2007
Version 1.1

Brother Industries, Ltd., Printing & Solutions Company ES Development dept.

目次

1.	概要	1
1. 1.	はじめに.....	1
1. 2.	動作環境.....	1
1. 3.	動作確認環境	2
2.	インストール方法 (RPM系、Debian系)	3
2. 1.	インストール手順	3
2. 2.	Linuxディストリビューションの設定に関する注意事項.....	8
2. 3.	アンインストール手順	8
3.	アプリケーションを用いてラベルを作成する.....	9
3. 1.	アプリケーション(OpenOffice.org)の使用について	9
3. 2.	アプリケーション(OpenOffice.org Writer、Calc)からの印刷方法	9
Appendix A.	プリンタのプロパティ	10
Appendix B.	用紙(ラベルフォーマット)の追加方法.....	12
Appendix C.	Open Office.org Writer、Calc用テンプレートについて	13
C. 1.	Open Office.org Wrier、Calc用テンプレートについて	13
C. 2.	用紙サイズ	14
Appendix D.	QL-1050 用Linuxドライバのファイル構成について	18
D. 1.	インストーラのファイル構成	18
D. 2.	ドライバのファイル構成について.....	18
Appendix E.	Linuxを用いたネットワーク設定について.....	20
Appendix F.	その他	25
F. 1.	印刷エラー情報の取得方法	25
F. 2.	MFC対応Linuxドライバについて	25

1. 概要

1. 1. はじめに

本マニュアルは、QL-1050 ラベルプリンタ対応 Linux ドライバに関する資料です。

QL-1050 ラベルプリンタ対応 Linux ドライバは、以下の 2 種類のドライバにより構成されています。

[1]LPR 用ドライバ

LPD プリントサービスを使った Linux システムで、印刷機能を使用することができます。

[2]CUPS Wrapper ドライバ

LPR 用ドライバを CUPS ドライバとして動作させる CUPS Wrapper ドライバです。

CUPS Wrapper ドライバをインストールする前に、LPR 用ドライバのインストールが必要です。

異なる単位系に対応するため、mm 単位表示版 CUPS Wrapper ドライバと、inch 単位表示版 CUPS Wrapper ドライバをそれぞれ提供します。

本ソフトウェアは、お使いの Linux ディストリビューションへ、該当する上記のドライバファイルを自動的にコピーするインストーラパッケージを用意しています。

Notes

- 現在ご提供できるドライバは、英語表記のみです。
- 本マニュアルの内容については、お客様の利用環境において、当社製品の Linux 上での動作を保証しているものではありません。
- 本マニュアルの内容について、当社ではいかなる保障もしておりません。導入および運用等は、ご利用になるお客様ご自身の責任において行なっていただけますようお願いいたします。

1. 2. 動作環境

ドライバ	QL-1050
インターフェース	USB ポート (USB1.1 以降対応) シリアルポート (RS-232C)
コンピュータ	IBM PC または互換機 (CPU アーキテクチャ : x86)
Linux ディストリビューション	RPM 系、DEB 系 (詳細は 1.3 参照)

1. 3. 動作確認環境

各種 Linux ディストリビューションにおける QL-1050 の動作確認環境は以下のとおりです。

Linux ディストリビューション	
RPM 系	Fedora Core 3
	Fedora Core 4
	Fedora Core 5
	Mandriva Linux 2006
	Red Hat Linux 9
	SuSE Linux 10.0
	MIRACLE Linux V4.0
	TurboLinux 10 FUJI
	Vine Linux 3.2
	Fedora Core 6
	openSUSE 10.2
Debian 系	Debian GNU/Linux 3.1r1(sarge)

Notes

— 但し、ここで提供する情報はお客様の環境で同様の結果が得られることを保証するものではありません。
また掲載している内容については、当社が保証するものではありません。

2. インストール方法 (RPM 系、Debian 系)

2. 1. インストール手順

QL-1050 ドライバを例としてインストール手順を説明します。

[1] 適当なディレクトリに「LPR 用ドライバ」と「CUPS Wrapper ドライバ」を用意してください。

[2] ルートユーザでログインしてください。もしくは、su コマンドを使用してルート権限を取得してください。



[3] 「LPR 用ドライバ」をインストールしてください。

・ Debian (Debian 系) ユーザーの場合 :

```
dpkg -i --force-all ql1050lpr-1.0.0-1.i386.deb
```

・ Fedora Core (RPM 系) ユーザーの場合 :

```
rpm -ihv --nodeps ql1050lpr-1.0.0-1.i386.rpm
```

(すでにブラザー製 LPR 用ドライバがインストールされている場合、エラーが発生する場合があります。上書きする場合は、“--force” オプションを指定してください。)



[4] 「CUPS Wrapper ドライバ」をインストールしてください。

・ Debian (Debian 系) ユーザーの場合 :

[mm 単位表示を使用する場合]

```
dpkg -i --force-all ql1050cupswrapper-1.0.0-1.debian.i386.deb
```

[inch 単位表示を使用する場合]

```
dpkg -i --force-all ql1050cupswrapperinch-1.0.0-1.debian.i386.deb
```

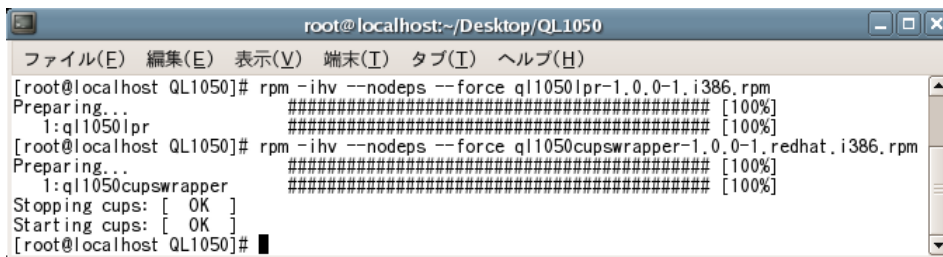
・ Fedora Core (RPM 系) ユーザーの場合 :

[mm 単位表示を使用する場合]

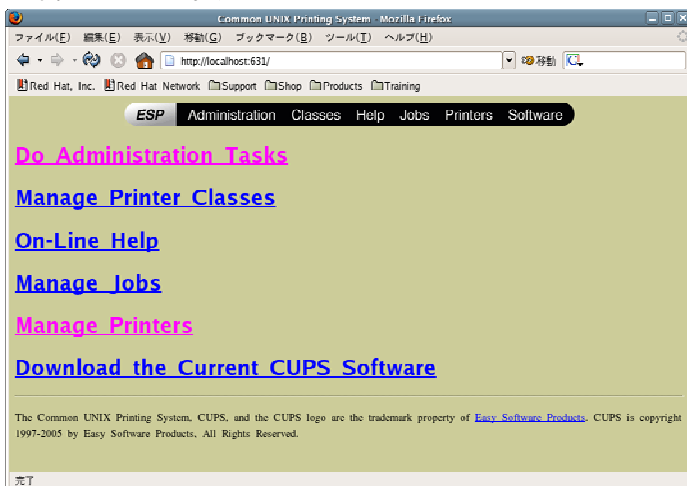
```
rpm -ihv --nodeps ql1050cupswrapper-1.0.0-1.redhat.i386.rpm
```

[inch 単位表示を使用する場合]

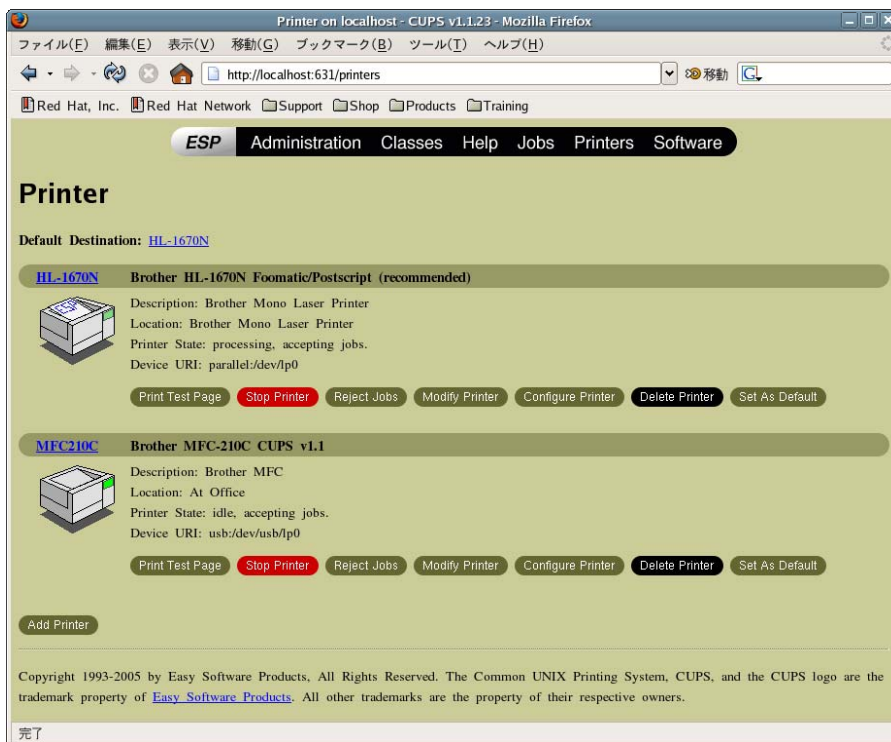
```
rpm -ihv --nodeps ql1050cupswrapperinch-1.0.0-1.redhat.i386.rpm
```



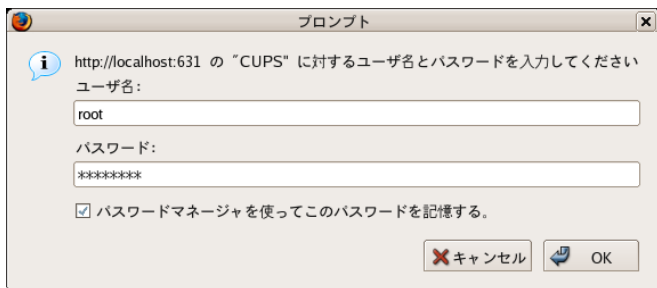
[5] お使いのブラウザを起動し、CUPS Web 管理サイト (<http://localhost:631>) を開きます。
 (プロキシサーバーをお使いなら、「ローカルサーバーにはプロキシサーバーを利用しない」の設定をご確認ください。)



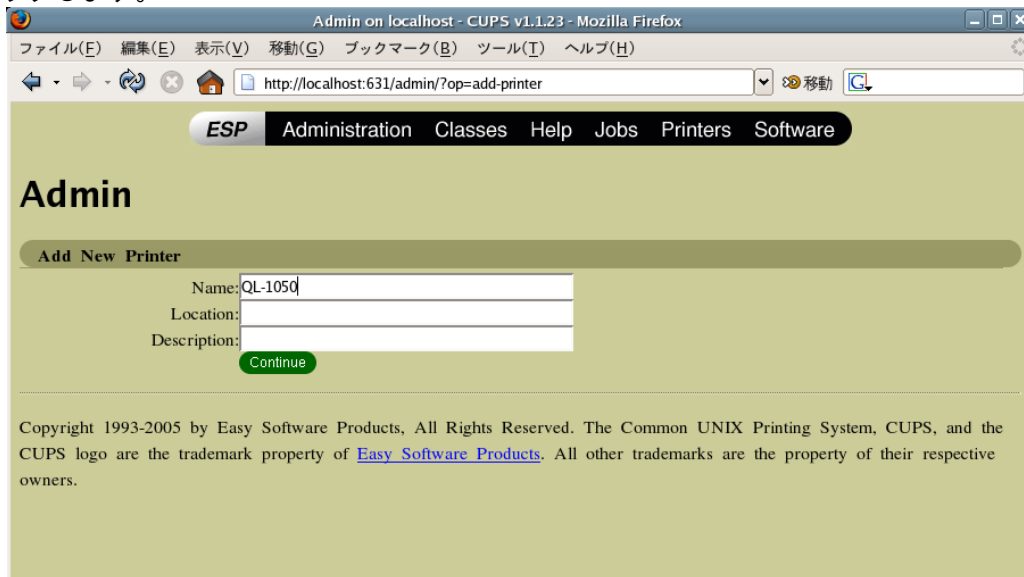
[6] **Manage Printers**をクリックし、そこにインストールしたプリンタ名が表示されていることを確認してください。もし表示されていない場合は、**Add Printer**をクリックして指示に従ってインストールしてください。



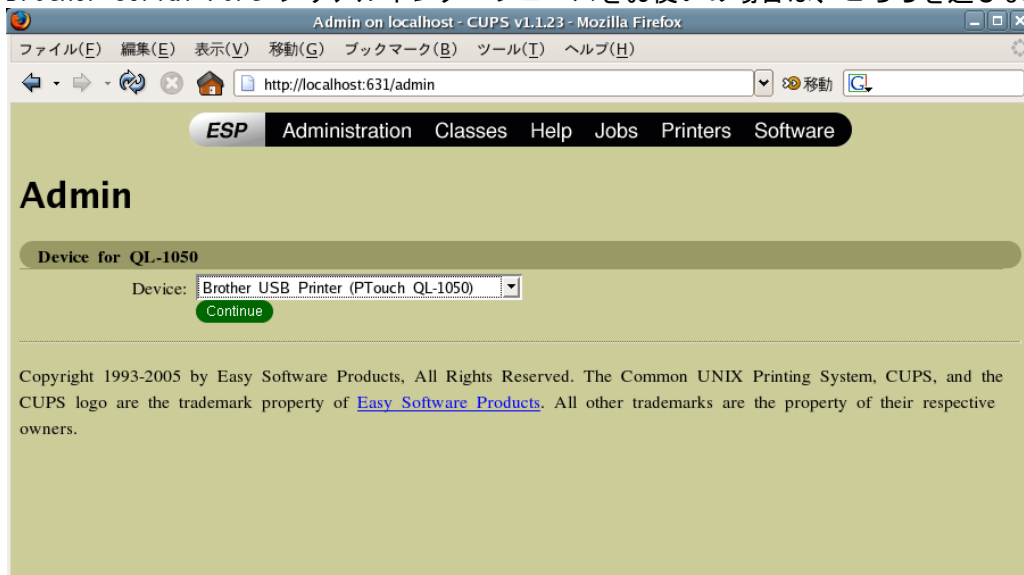
[7] ユーザ名とパスワードを入力し、OK ボタンをクリックします。



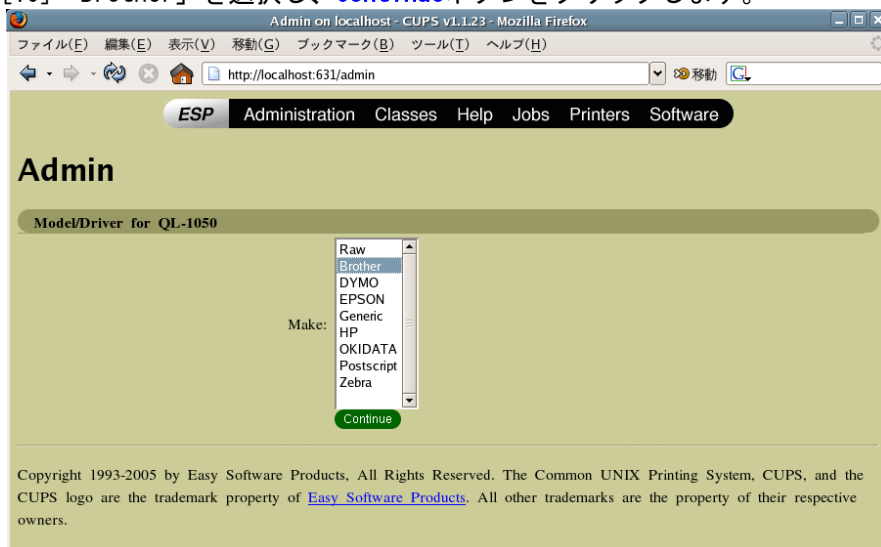
[8]Nameに、お使いのモデル名を入力し、任意でLocation/Descriptionを入力して、Continueボタンをクリックします。



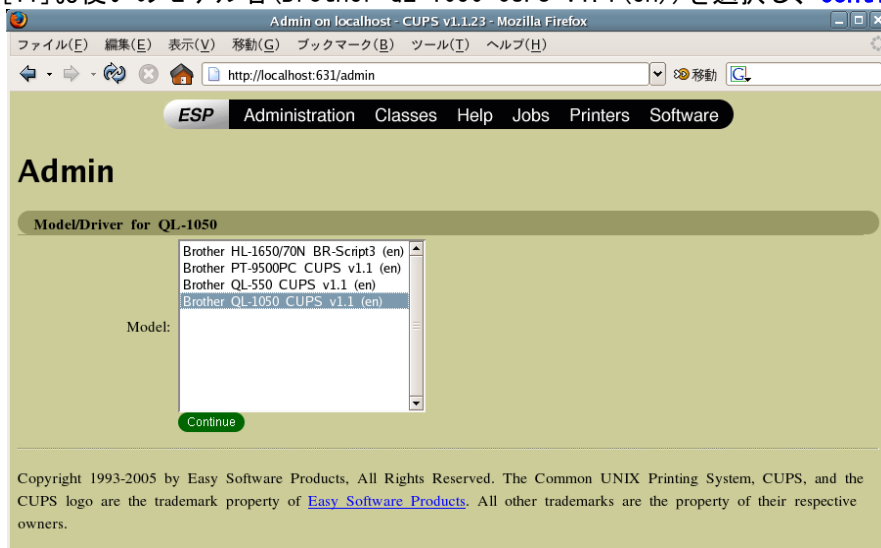
[9] 次の2つの選択肢から、使用するデバイスを選択し、Continueボタンをクリックします。
 Brother USB Printer (Ptouch QL-1050)=USB インターフェースをお使いの場合は、こちらを選びます。
 Brother Serial Port=シリアルインターフェースをお使いの場合は、こちらを選びます。



[10] 「Brother」 を選択し、Continueボタンをクリックします。

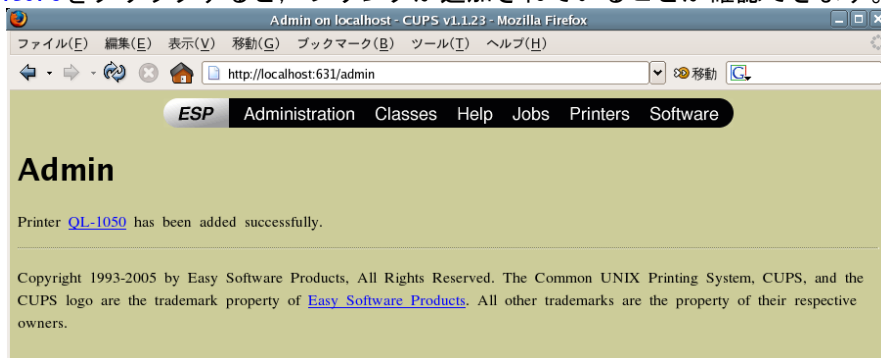


[11] お使いのモデル名 (Brother QL-1050 CUPS v1.1 (en)) を選択し、Continueボタンをクリックします。

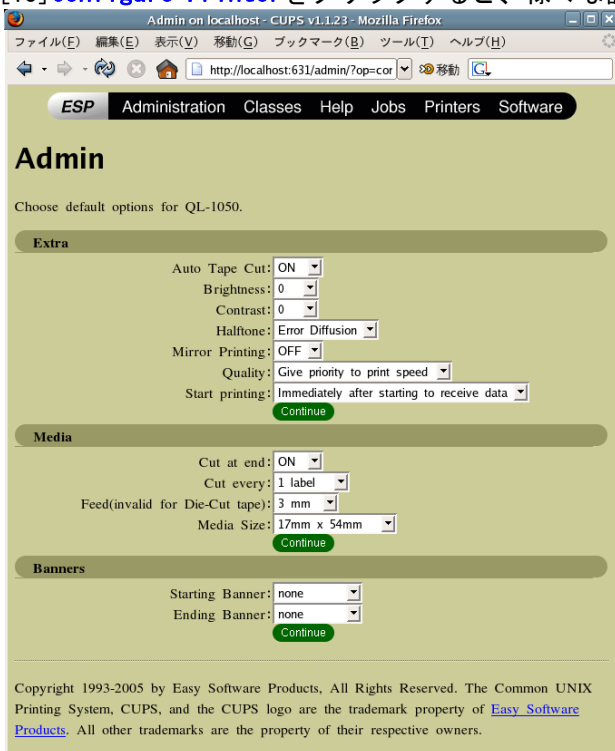


[12] これで、インストールは完了です。

Printersをクリックすると、プリンタが追加されていることが確認できます。



[13] **Configure Printer** をクリックすると、様々な設定ができます。



[14] **Print Test Page** をクリックして、テストページが印刷できれば成功です。



Notes

- CUPS についての詳しい情報は、CUPS Web 管理 ページで 「Help」 をクリックすると、入手することができます。
- Common UNIX Printing System、CUPS、CUPS ロゴは、Easy Software Products 社の登録商標です。Linux や Apple ディストリビューションから CUPS を入手された場合、CUPS についてのご質問は、直接ご入手された先のベンダーまでお問い合わせください。当社では、CUPS についてのサポートは致しかねます。

2. 2. Linux ディストリビューションの設定に関する注意事項

2. 2. 1. SELinux を搭載したディストリビューション(Fedora Core 5/GNOME など)への対応について

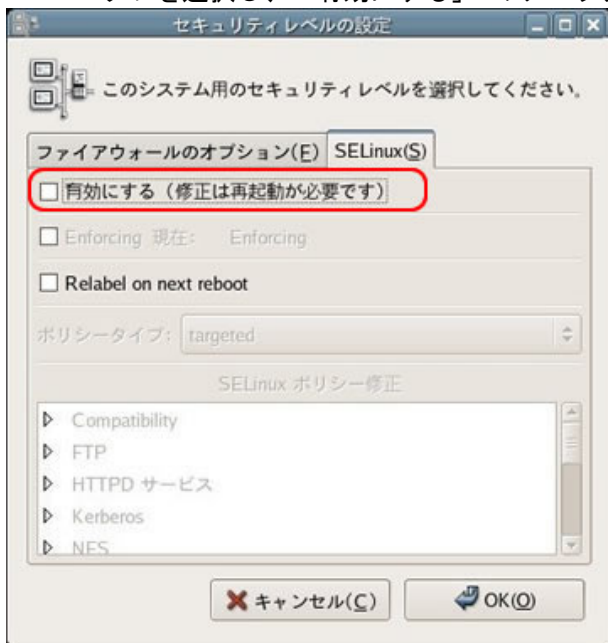
本プリンタドライバは、SELinux には対応していません。印刷時にエラーで実行できない場合は、SELinux を無効に設定してください。

[SELinux を無効にする方法]

[1]Desktop プルダウンメニューから、「システム設定」－「セキュリティレベル」 を選択する。



[2]SELinux タブを選択し、「有効にする」 のチェックを外す。その後、OK ボタンをクリックする。



[3]システムを再起動させます。

Notes

－ SELinux の詳細に関しては、ディストリビューション提供元へご相談ください。

2. 3. アンインストール手順

Appendix D の各種ファイルを、手動で削除してください。

3. アプリケーションを用いてラベルを作成する

3. 1. アプリケーション (OpenOffice.org) の使用について

本マニュアルでは、Linux ディストリビューションに広く普及しているアプリケーションである、OpenOffice.org から QL-1050 プリンタへの印刷方法について説明します。

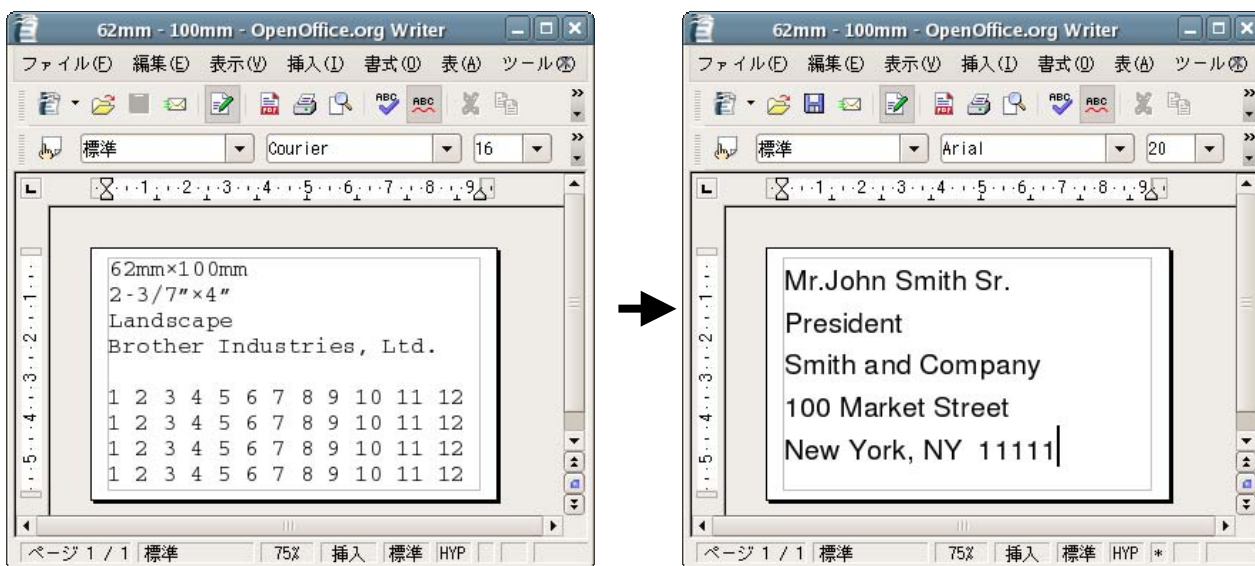
OpenOffice.org から QL-1050 プリンタへ印刷を行う場合、レイアウトにおいて「用紙サイズ」「余白」の設定を行う必要があります。本ソフトウェアでは、Writer、Calc について、「用紙サイズ」「余白」が設定済みであるテンプレートを提供します。

3. 2. アプリケーション (OpenOffice.org Writer、Calc) からの印刷方法

例として、Writer 向け 62mm×100mm、横方向テンプレートを使用する方法を説明します。

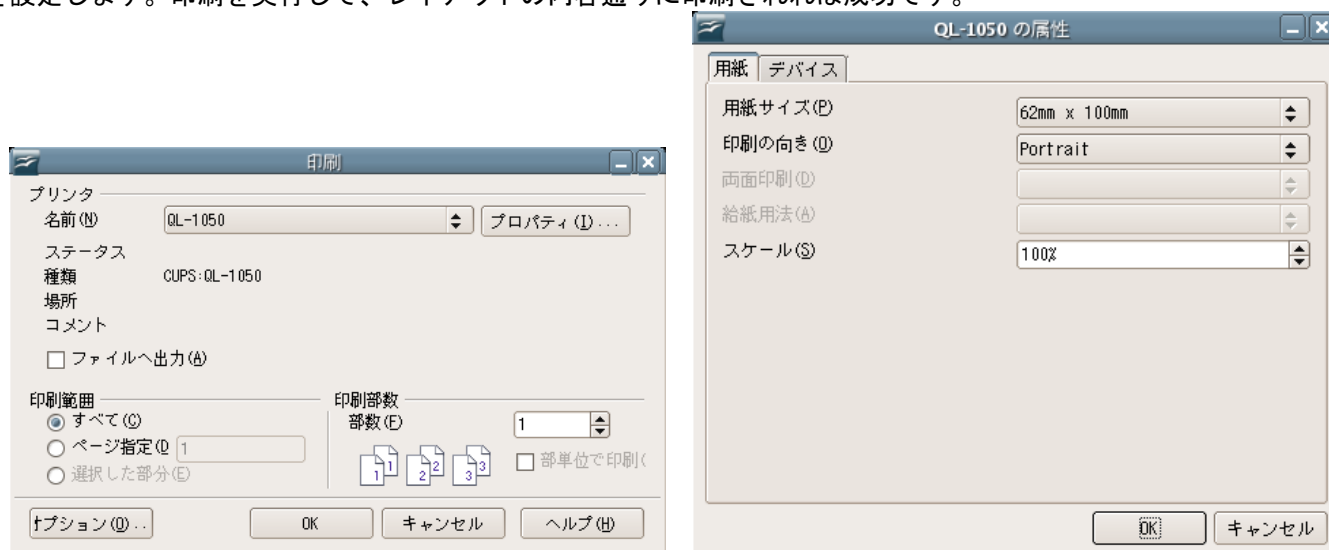
[1] 「62mm×100mm.doc」ファイルのコピーの上、OpenOffice.org Writer から開きます。

[2] ファイル内のデータを適宜変更します。



[3] 印刷ダイアログを開きます。ここで、プリンタ名 (ex. QL-1050) を設定します。

[プロパティ...] ボタンにより表示される、ドライバの属性ダイアログにおいて、用紙サイズ「62mm×100mm」を設定します。印刷を実行して、レイアウトの内容通りに印刷されれば成功です。

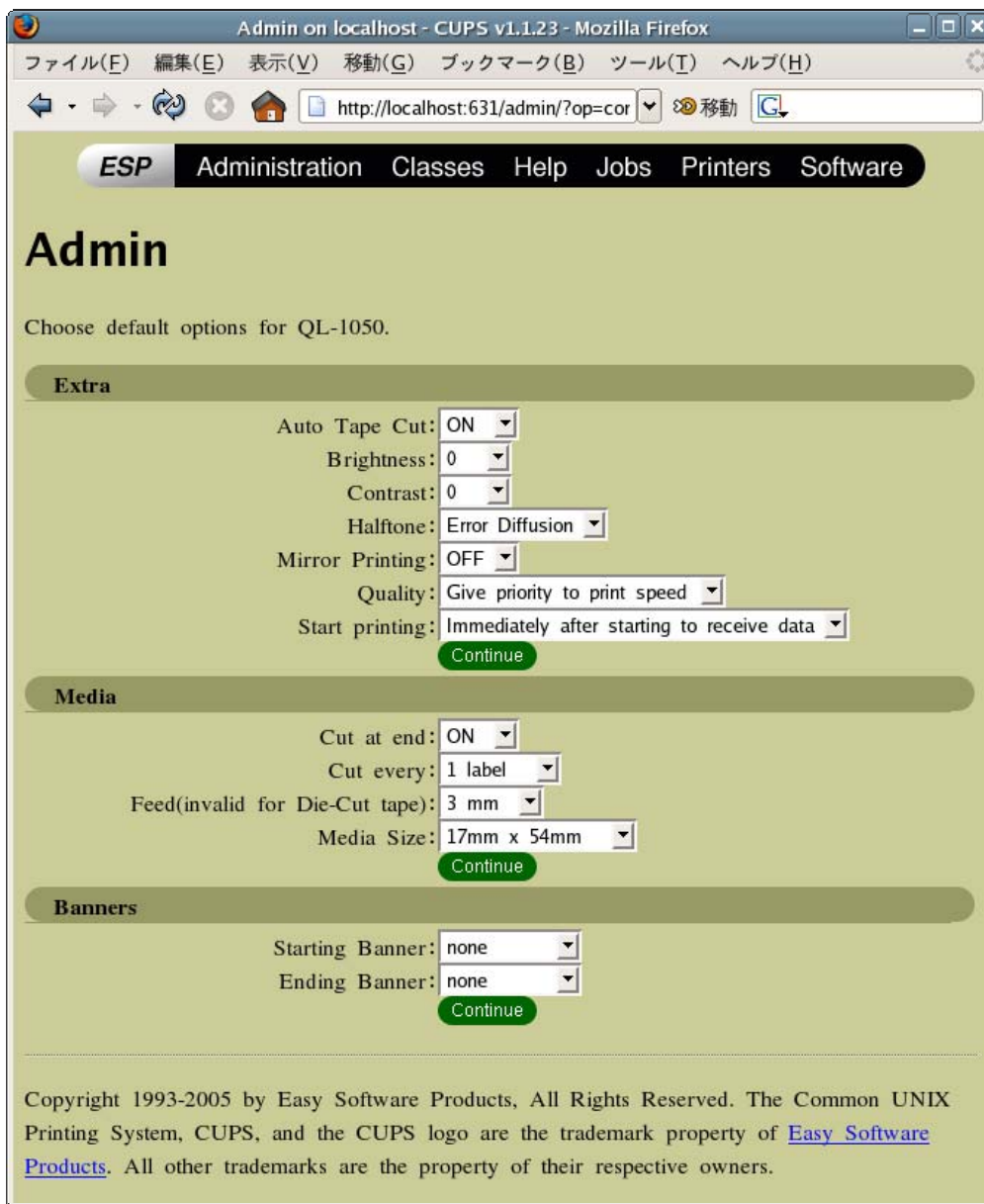


[図 1] 印刷ダイアログ

[図 2] ドライバの属性ダイアログ

Appendix A. プリンタのプロパティ

CUPS Web 管理サイト (<http://localhost:631>) 上にて、設定可能なプリンタのプロパティについて説明します。



- ・ 一頁ごとにカットする / Auto Tape Cut
 - 一頁印刷する毎にオートカットする。
 - 規定値はチェックあり。
- ・ 明るさ / Brightness
 - 現在値から 20% の範囲で変更する。この効果はサンプルに反映される。デフォルトは 0 である。
- ・ コントラスト / Contrast
 - 現在値から 20% の範囲で変更する。この効果はサンプルに反映される。デフォルトは 0 である。
- ・ ハーフトーン / Halftone
 - 単純 2 値/Binary、ディザ/Dither、誤差拡散/Error Diffusion から選択する。デフォルトは誤差拡散/Error Diffusion。

・ ミラー印刷 / Mirror Printing

ミラー印刷する。

規定値はチェックなし。

・ 品質 / Quality

速度優先 (Give priority to print speed) と品質優先 (Give priority to print quality) から選択する。

規定値は速度優先。

・ 最後をカット(U)/ Cut at end

最後のラベルをカットする。

規定値はチェックあり。

・ 指定枚数ごとにカット(C)...枚 / Cut every ... labels

スピンボックスで指定された枚数を印刷するごとにオートカットする。

チェックボックスの規定値はチェックあり。

エディットボックスの規定値は[1]

チェックボックスを OFF にするとエディットボックスが無効になり、

チェックボックスを ON にするとエディットボックスが有効になる。

・ 左右余白 / Feed

選択可能な左右余白 (3~30mm) がコンボボックスにセットされる。通常テープの場合は 3mm をデフォルトとし、ダイカットテープの場合は指定できない。

・ テープ幅 / Media Size

選択可能なテープ幅 (12~62mm ロール、ダイカットテープ) がコンボボックスにセットされる。

規定値 : 29mm x 90mm とする。

17mm x 54mm
17mm x 87mm
29mm x 90mm
38mm x 90mm
62mm x 29mm
62mm x 100mm
12mm Dia
24mm Dia
58mm Dia
102mm x 51mm
102mm x 152mm
23mm x 23mm
12mm
29mm
62mm
102mm

mm 版の場合

2/3" x 2-1/8"
2/3" x 3-7/16"
1-1/7" x 3-7/16"
1-1/2" x 3-1/2"
2-3/7" x 1-1/7"
2-3/7" x 4"
1/2" Dia
1" Dia
2-1/3" Dia
4" x 2"
4" x 6"
10/11" x 10/11"
1/2"
1-1/7"
2-3/7"
4"

inch 版の場合

Appendix B. 用紙(ラベルフォーマット)の追加方法

無定長(12mm、29mm、62mm、102mm)ラベルに対して、長さを設定して印刷したい場合は用紙(ラベルフォーマット)を追加して使用します。

用紙(ラベルフォーマット)の追加は、コマンドラインから行います。

用紙(ラベルフォーマット)の追加は、ツール「brpapertoollpr_ql1050」(QL-1050の場合)を使用して行います。このツールは、ライバinstool時に合わせてインストールされ、以下のフォルダ先に収録されます。

フォルダ先 : [usr]-[bin]

追加方法:

```
brpapertoollpr_ql1050 [-P プリンタ名] [-n ラベルフォーマット名] [-w 用紙幅(mm)] [-h 用紙高さ(mm)]
```

削除方法:

```
brpapertoollpr_ql1050 [-P プリンタ名] [-d ラベルフォーマット名]
```

[-P プリンタ名]: ユーザーが定義したプリンタ名

[-n ラベルフォーマット名]: 追加したラベルフォーマット名の用紙幅と高さは、PPD ファイルに追加されます。(もし既に同じラベルフォーマット名が存在する場合は、古いパラメータが新しいパラメータに更新されます)

[-w 用紙幅(mm)]: ラベルフォーマットの用紙幅を定義します。(単位:mm)

[-h 用紙高さ(mm)]: ラベルフォーマットの用紙高さを定義します。(単位:mm)

[-d ラベルフォーマット名]: ラベルフォーマットを PPD ファイルから削除します。

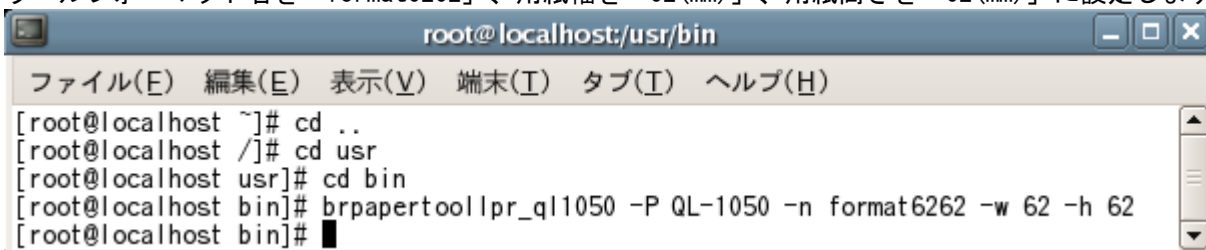
<例>

[1]QL-1050 プリンタ、62mm 無定長ラベルについて、新しいラベルフォーマットを追加します。

Root 権限を使用する必要があります。

[2]ラベルフォーマットを追加する場合:

ラベルフォーマット名を「format6262」、用紙幅を「62(mm)」、用紙高さを「62(mm)」に設定します。



```

root@localhost:~/usr/bin
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 端末(I) タブ(I) ヘルプ(H)
[root@localhost ~]# cd ..
[root@localhost /]# cd usr
[root@localhost usr]# cd bin
[root@localhost bin]# brpapertoollpr_ql1050 -P QL-1050 -n format6262 -w 62 -h 62
[root@localhost bin]#

```

[2]ラベルフォーマットを削除する場合:

ラベルフォーマット名を「format6262」に設定します。



```

root@localhost:~/usr/bin
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 端末(I) タブ(I) ヘルプ(H)
[root@localhost ~]# cd ..
[root@localhost /]# cd usr
[root@localhost usr]# cd bin
[root@localhost bin]# brpapertoollpr_ql1050 -P QL-1050 -d format6262
[root@localhost bin]#

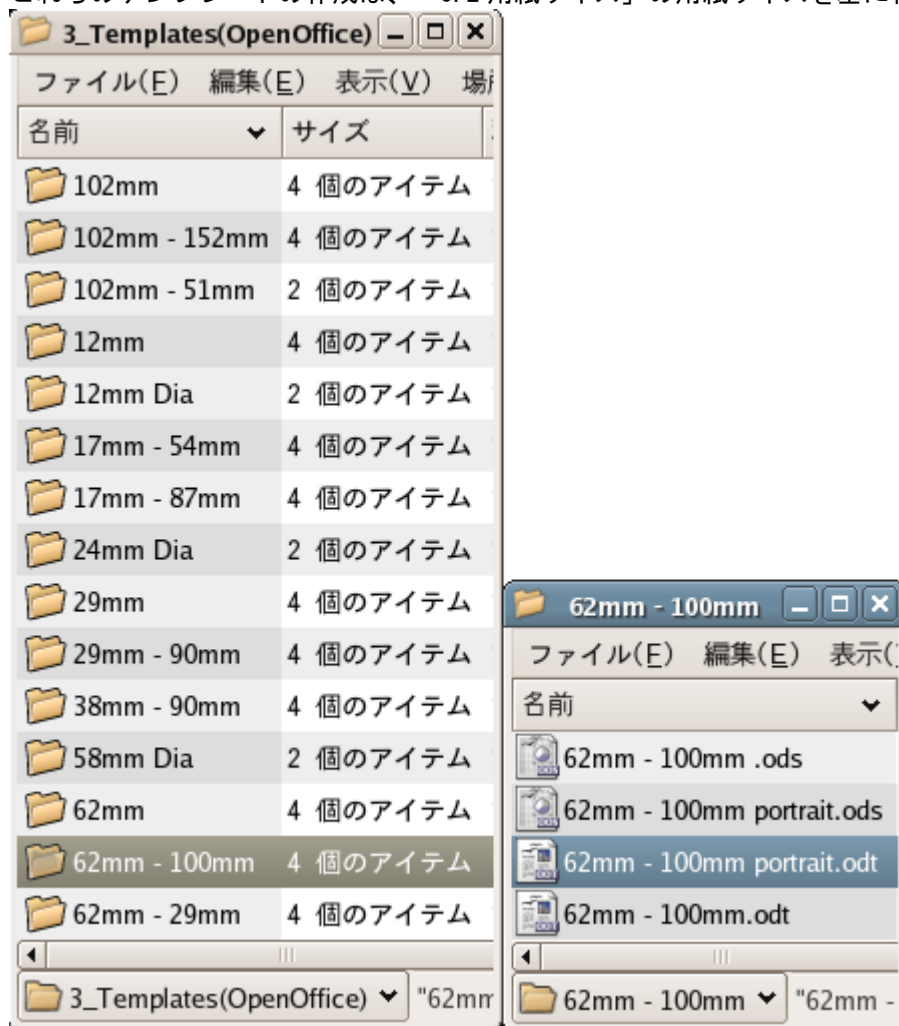
```

Appendix C. Open Office.org Writer、Calc 用テンプレートについて

C. 1. Open Office.org Wrier、Calc 用テンプレートについて

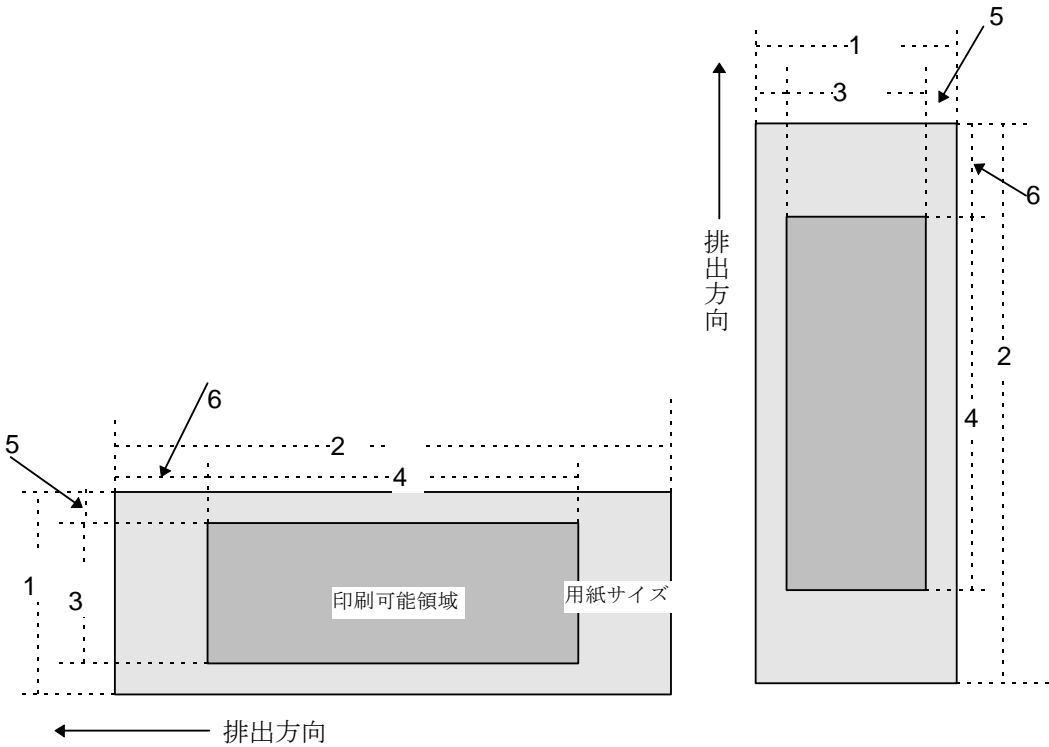
Open Office.org から QL-1050 プリンタへ印刷する場合は、レイアウトにおける「用紙サイズ」「余白」を設定する必要があります。ここでは、Writer、Calcについて、それぞれ縦方向および横方向のテンプレートを用意しています。テンプレートは以下のとおりです。

これらのテンプレートの作成は、「C. 2 用紙サイズ」の用紙サイズを基に作成しています。



C. 2. 用紙サイズ

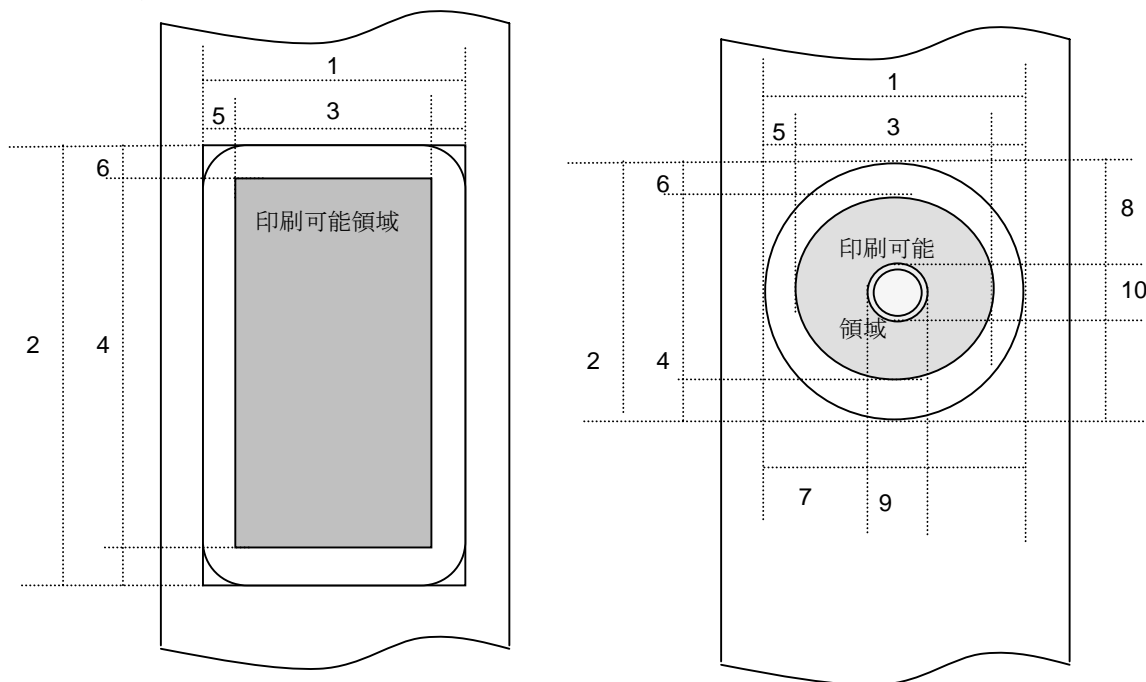
C. 2. 1. 無定長ロールサイズ



	Landscape	Portrait
番号	1 幅	2 長さ
	3 印刷可能領域幅(最大印字幅)	4 印刷可能領域長さ
	5 幅方向オフセット	6 長さ方向オフセット

ID	ロール種類	表記	1	2	3	4	5	6
DCROLL1 +0	12mm	12mm 1/2"	12.02 mm 142 dots	→C. 3. 4	8.97 mm 106 dots	→C. 3. 4	1.5 mm 18 dots	→C. 3. 3
DCROLL2 +1	29mm	29mm 1-1/7"	28.96mm 342 dots	→C. 3. 4	25.91 mm 306 dots	→C. 3. 4	1.5 mm 18 dots	→C. 3. 3
DCROLL3 +2	62mm	62mm 2-3/7"	61.98mm 732 dots	→C. 3. 4	58.93mm 696 dots	→C. 3. 4	1.5 mm 18 dots	→C. 3. 3
DCROLL4 +3	102mm	102mm 4"	101.6mm 1200 dots	→C. 3. 4	98.59 mm 1164 dots	→C. 3. 4	1.5 mm 18 dots	→C. 3. 3

C. 2. 2. ダイカットラベル



番号

1 幅

2 長さ

3 印刷可能領域幅 (最大印字幅)

4 印刷可能領域長さ

5 幅方向オフセット

6 長さ方向オフセット

7 マスク領域幅方向オフセット

8 マスク領域長さ方向オフセット

9 マスク領域幅方向サイズ

10 マスク領域長さ方向サイズ

ID	表記	1	2	3	4	5	6
DC1	17mm x 54mm	17.02mm	53.85mm	13.97mm	47.92mm	1.5 mm	3.0 mm
+12	2/3" x 2-1/8"	201 dots	636 dots	165 dots	566 dots	18 dots	35 dots
DC2	17mm x 87mm	17.02mm	86.87mm	13.97mm	80.94mm	1.5 mm	3.0 mm
+13	2/3" x 3-7/16"	201 dots	1026 dots	165 dots	956 dots	18 dots	35 dots
DC3	29mm x 90mm	28.96mm	89.83mm	25.91mm	83.90mm	1.5 mm	3.0 mm
+14	1-1/7" x 3-1/2"	342 dots	1061 dots	306 dots	991 dots	18 dots	35 dots
DC4	38mm x 90mm	38.01mm	89.83mm	34.97mm	83.90mm	1.5 mm	3.0 mm
+15	1-1/2" x 3-1/2"	449 dots	1061 dots	413 dots	991 dots	18 dots	35 dots
DC5	58mm Dia	58.25mm	58.25mm	52.32mm	52.32mm	3.0 mm	3.0 mm
+16	2-1/3" Dia	688 dots	688 dots	618 dots	618 dots	35 dots	35 dots
DC6	62mm x 29mm	61.98mm	28.87mm	58.93mm	22.94mm	1.5 mm	3.0 mm
+17	2-3/7" x 1-1/7"	732 dots	341 dots	696 dots	271 dots	18 dots	35 dots
DC7	62mm x 100mm	61.98mm	99.82mm	58.93mm	93.90mm	1.5 mm	3.0 mm
+18	2-3/7" x 4"	732 dots	1179 dots	696 dots	1109 dots	18 dots	35 dots
DC12	12mm Dia	12.02mm	12.02mm	7.96mm	7.96mm	2.0 mm	2.0 mm
+105	1/2" Dia	142 dots	142 dots	94 dots	94 dots	24 dots	24 dots
DC13	24mm Dia	24.04mm	24.04mm	19.98mm	19.98mm	2.0 mm	2.0 mm
+106	1" Dia	284 dots	284 dots	236 dots	236 dots	24 dots	24 dots
DC15	102mm x 51mm	101.6mm	50.5mm	98.59mm	44.53mm	1.5mm	3.0 mm
+108	4" x 2"	1200 dots	596 dots	1164 dots	526 dots	18 dots	35 dots
DC16	102mm x 152mm	101.6mm	152.75mm	98.59mm	140.60mm	1.5mm	6.1mm
+109	4" x 6"	1200 dots	1804 dots	1164 dots	1660 dots	18 dots	72 dots
DC20	23mm x 23mm	23.03mm	23.03mm	19.99mm	17.10mm	1.5 mm	3.0 mm
+113	10/11" x 10/11"	272 dots	272 dots	236 dots	202 dots	18 dots	35 dots

*DC15 はドライバ上では 90 度回転した状態になっており、出力時に元に戻す方向に 90 度回転して出力される。

ID	7	8	9*	10*
DC5	21.17mm 232 dots	21.08mm 232 dots	19.0mm 224 dots	19.0mm 224 dots

*16mm の径に、幅方向 3mm(1.5mmx2)、長さ方向 3mm(1.5mmx2)の余白がついている。

C. 2. 3. フィード量

フィード量（左右余白）を定義する。

種別	最小余白設定	最大余白設定
ロール	mm 表記: 3mm インチ表記:0.1” 35 dots	mm 表記: 127mm インチ表記:5” 1500 dots
ダイカット	表示上は「C.2.2 ダイカッタラベル」で指定された送り方向オフセットを使用する。 ただし、余白用指定コマンドの数値は0とする	

C. 2. 4. 最大・最小長

最大長と最小長を定義する。

種別	最小長	最大長
DeviceCapabilities	12.02mm	1000mm
DC_MINEXTENT の値	142	11811 dots
ロール	25 mm 295 dots	1000mm 11811 dots
ダイカット	固定	固定

Appendix D. QL-1050 用 Linux ドライバのファイル構成について

D. 1. インストーラのファイル構成

Fedora Core (RPM 系) の場合

名称	単位系	ファイル名
LPR用ドライバ	-	ql1050lpr-1.0.0-1.i386.rpm
CUPS Wrapperドライバ	mm	ql1050cupswrapper-1.0.0-1.redhat.i386.rpm
	inch	ql1050cupswrapperinch-1.0.0-1.redhat.i386.rpm

Debian (Debian 系) の場合

名称	単位系	ファイル名
LPR用ドライバ	-	ql1050lpr-1.0.0-1.i386.deb
CUPS Wrapperドライバ	mm	ql1050cupswrapper-1.0.0-1.debian.i386.deb
	inch	ql1050cupswrapperinch-1.0.0-1.debian.i386.deb

D. 2. ドライバのファイル構成について

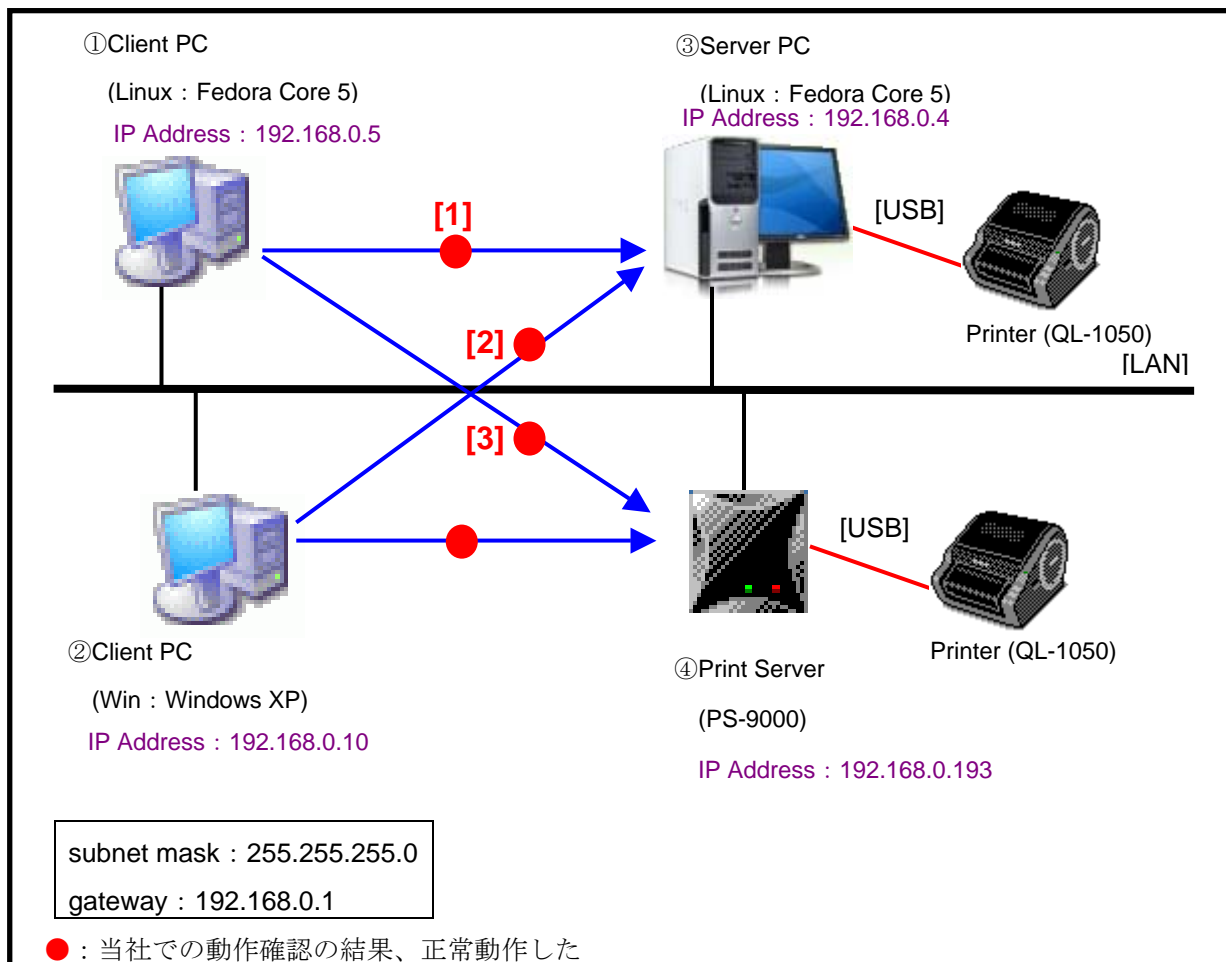
RPM 系の場合

名称	機能	ファイル名
LPR用ドライバ	ドライバ本体	(1) /usr/bin/brpapertoollpr_ql1050
		(2) /usr/bin/brprintconfpt1_ql1050
		(3) /usr/bin/brps2ps_ql1050
		(4) /usr/local/Brother/PTouch/ql1050/inf/brPrintListpt1
		(5) /usr/local/Brother/PTouch/ql1050/inf/brql1050func
		(6) /usr/local/Brother/PTouch/ql1050/inf/brql1050init
		(7) /usr/local/Brother/PTouch/ql1050/inf/brql1050rc
		(8) /usr/local/Brother/PTouch/ql1050/inf/paperinfql1050pt1
		(9) /usr/local/Brother/PTouch/ql1050/inf/setupPrintcappt1
		(10) /usr/local/Brother/PTouch/ql1050/lpd/brpapertoolcups
		(11) /usr/local/Brother/PTouch/ql1050/lpd/brusb_ql_lpr brserial_ql1050
		(12) /usr/local/Brother/PTouch/ql1050/lpd/filterql1050
		(13) /usr/local/Brother/PTouch/ql1050/lpd/psconvertpt1
		(14) /usr/local/Brother/PTouch/ql1050/lpd/rastertobrpt1
CUPS Wrapper	CUPS Wrapper	(1) /usr/local/Brother/PTouch/ql1050/cupswrapper/brcupsconfpt1
		(2) /usr/local/Brother/PTouch/ql1050/cupswrapper/cupswrapperql1050pt1
関連ファイル		(1) /usr/lib/cups/backend/brusb_ql1050 brserial_ql1050
		(2) /usr/lib/cups/filter/brlpdwrapperql1050
		(3) /usr/share/cups/model/brql1050.ppd
		(4) /etc/cups/ppd/[プリンタ名].ppd

Debian 系の場合

名称	機能	ファイル名
LPR用ドライバ	ドライバ本体	(1) /usr/bin/brpapertoollpr_ql1050 (2) /usr/bin/brprintconfpt1_ql1050 (3) /usr/bin/brps2ps_ql1050 (4) /usr/local/Brother/PTouch/ql1050/inf/brPrintListpt1 (5) /usr/local/Brother/PTouch/ql1050/inf/brql1050func (6) /usr/local/Brother/PTouch/ql1050/inf/brql1050init (7) /usr/local/Brother/PTouch/ql1050/inf/brql1050rc (8) /usr/local/Brother/PTouch/ql1050/inf/paperinfql1050pt1 (9) /usr/local/Brother/PTouch/ql1050/inf/setupPrintcappt1 (10) /usr/local/Brother/PTouch/ql1050/lpd/brpapertoolcups (11) /usr/local/Brother/PTouch/ql1050/lpd/brusb_ql_lpr brserial_ql1050 (12) /usr/local/Brother/PTouch/ql1050/lpd/filterql1050 (13) /usr/local/Brother/PTouch/ql1050/lpd/psconvertpt1 (14) /usr/local/Brother/PTouch/ql1050/lpd/rastertobrpt1
CUPS Wrapper	CUPS Wrapper	(1) /usr/local/Brother/PTouch/ql1050/cupswrapper/brcupsconfpt1 (2) /usr/local/Brother/PTouch/ql1050/cupswrapper/cupswrapperql1050pt1
関連ファイル		(1) /usr/lib/cups/backend/brusb_ql1050 brserial_ql1050 (2) /usr/lib/cups/filter/brlpdwrapperql1050 (3) /usr/share/cups/model/brql1050.ppd (4) /etc/cups/ppd/[プリンタ名].ppd (5) /var/lib/dpkg/info/ql1050*

Appendix E. Linux を用いたネットワーク設定について



[Linux ネットワーク構成図(例)]

Linux ネットワーク構成の組み合わせについて

組み合わせの構成は以下の通り。

- [1]①-③ : Server[Linux]-Client[Linux]
- [2]②-③ : Server[Linux]-Client[Windows]
- [3]①-④ : Print Server[PS-9000]-Client[Linux]

事前設定

[1][2]については、事前に Server[Linux]に対して以下の設定を行う。

(Client から Server[Linux]の CUPS へアクセス可能とするため)

```
/etc/cups/cupsd.conf
```

```
<location />
```

```
Order Deny,Allow
```

```
Deny From All
```

```
Allow From 127.0.0.1
```

```
Allow From 192.168.0.5/255.255.255.0
```

```
Allow From 192.168.0.10/255.255.255.0
```

```
</Location>
```

```
<location /admin>
```

```
## Restrict access to local domain
```

```
Order Deny,Allow
```

```
Deny From All
```

```
Allow From 127.0.0.1
```

```
Allow From 192.168.0.5/255.255.255.0
```

```
Allow From 192.168.0.10/255.255.255.0
```

```
#Encryption Required
```

```
</Location>
```

事前設定(CUPS 1.2 の場合)

お使いのブラウザを起動し、CUPS Web 管理サイト (<http://localhost:631/admin>) を開きます。

「基本サーバ設定 :」をご確認ください。



[1]①-③ : Server[Linux]-Client[Linux]

	Server[Linux]側	Client[Linux]側	結果
設定 方法 1	CUPS 画面のプリンタ追加(QL-1050)において、 Device : Brother USB Printer (PTouch QL-1050) = USB Make : Brother Model : Brother QL-1050 CUPS v1.1 (en) を選択する。	CUPS 画面のプリンタ追加(QL-1050)において、 Device : Internet Printing Protocol(http) Device URI : http : //192.168.0.4:631/printers/QL-1050 Make : Raw Model : Raw Queue(en) を選択する。	○
設定 方法 2	CUPS 画面のプリンタ追加(QL-1050)において、 Device : Brother USB Printer (PTouch QL-1050) = USB Make : Raw Model : Raw Queue(en) を選択する。	CUPS 画面のプリンタ追加(QL-1050)において、 Device : Internet Printing Protocol(http) Device URI : http : //192.168.0.4:631/printers/QL-1050 Make : Brother Model : Brother QL-1050 CUPS v1.1 (en) を選択する。	○

[2]②-③ : Server[Linux]-Client[Windows]

Server[Linux]に対して以下の設定を行った。

- ・データの種別を設定する(Windows から送られるデータの種別を設定する)

/etc/cups/mime.types
↑ application/octet-stream

Windows のプリンタドライバで処理されたデータは、バイナリデータとして CUPS に送られて来る

この行の先頭の「#」を消す

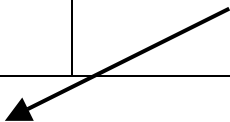
- ・フィルタを設定する(プリントアウトするデータをどう処理するか設定する)

/etc/cups/mime.convs
↑ application/octet-stream application/vnd.cups-raw 0 -

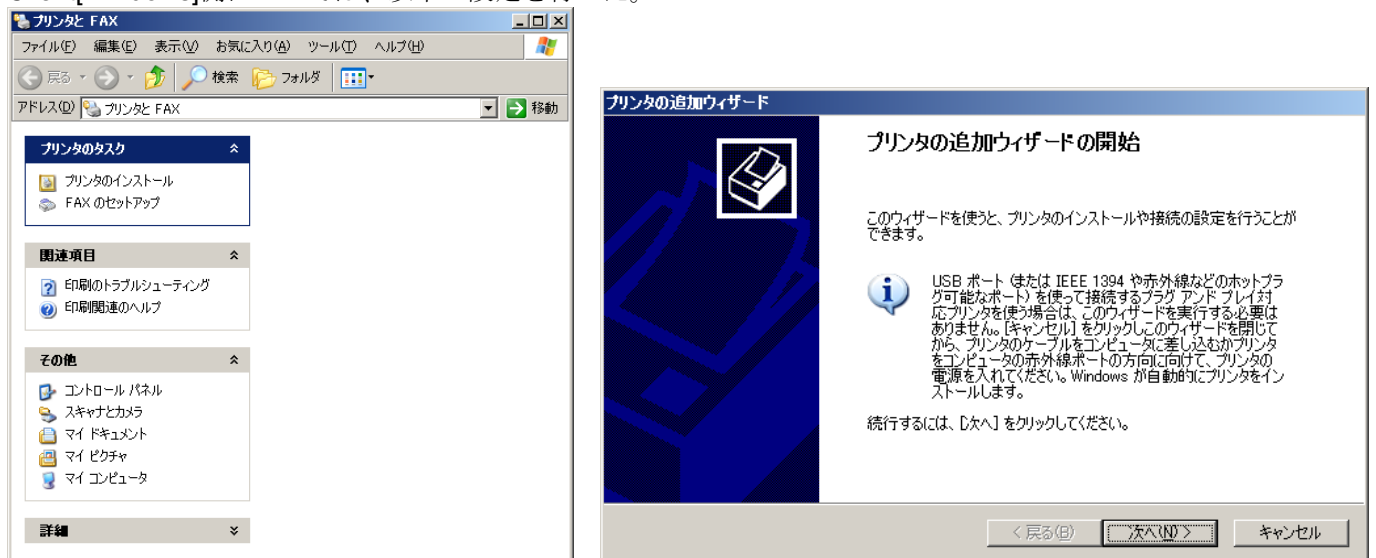
Windows でプリンタのデータ形式に変換した場合は、Linux 側では何も処理しない

この行の先頭の「#」を消す

	Server[Linux]側	Client[Windows]側	結果
設定 1	CUPS 画面のプリンタ追加(QL-1050)において、 Device : Brother USB Printer (PTouch QL-1050) = USB Make : Raw Model : Raw Queue(en) を選択する。		○

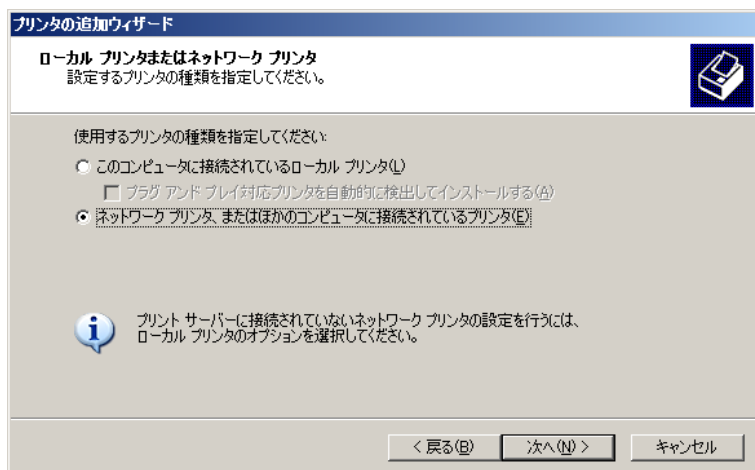


Client[Windows]側については、以下の設定を行った。

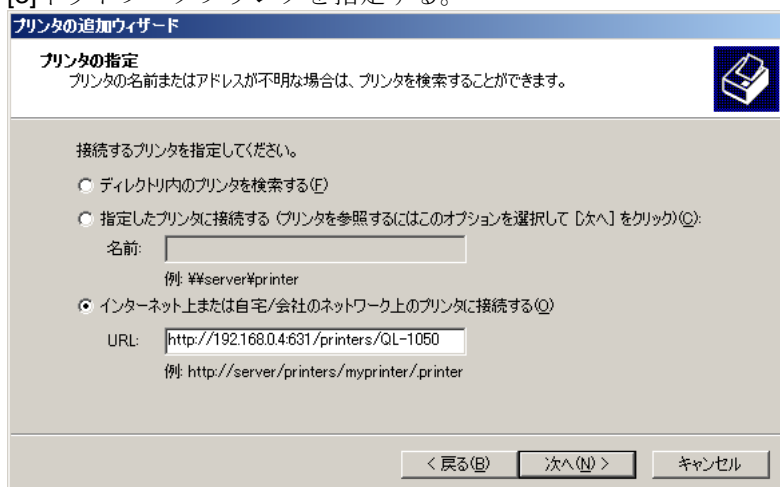


[1]プリンタのインストールを開始する。

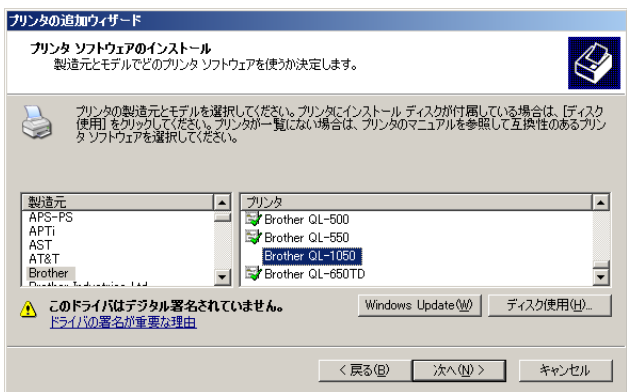
[2]プリンタの追加ウィザードを開始する。



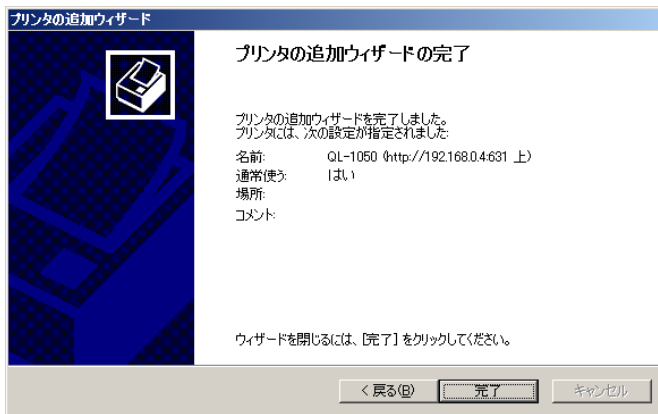
[3]ネットワークプリンタを指定する。



[4]プリンタの接続先を指定する。



[5] プリンタの機種を選択する。



[6] プリンタのインストールが完了した。

[3]①-④ : Print Server[PS-9000]-Client[Linux]

	Print Server[PS-9000]側	Client[Linux]側	結果
設定 1	Windows 上にて、 <ul style="list-style-type: none"> IP Address(ex. 192.168.0.193) サブネットマスク(ex. 255.255.255.0) ゲートウェイ(ex. 192.168.0.1) 等のネットワーク設定を行う。	CUPS 画面のプリンタ追加(QL-1050)において、 Device : LPD/LPR Host or Printer Device URI : lpd : //192.168.0.193/queue Make : Brother Model : Brother QL-1050 CUPS v1.1 (en) を選択する。	○

Appendix F. その他

F.1. 印刷エラー情報の取得方法

印刷エラー情報は、以下のログファイルから取得可能です。

`/var/log/cups/error_log`

F.2. MFC 対応 Linux ドライバについて

弊社において、MFC 対応 Linux ドライバを提供しています。本マニュアルの QL-1050 用ドライバは、「LPR 用ドライバ」+「CUPS wrapper ドライバ」の構成に基づく MFC 対応 Linux ドライバと同様な構成を使用しています。以下のリンク先を参考にしてください。

リンク先：

<http://solutions.brother.co.jp/linux/index.html>

http://solutions.brother.com/linux/en_us/index.html